

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： SCLC-119

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
小細胞肺がん	Durvalumab + CBDCA/ETP	21日間	4+ $\alpha$ コース	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	N Engl J Med 379: 2220-9, 2018

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
②	イミフィンジ 生理食塩液	1500mg/body 100mL	点滴静注	60分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
④	デキサート パロノセトロン アロカリス	6.6mg 0.75mg/50mL 235mg	点滴静注	30分	↓																				
	デキサート 生理食塩液	6.6mg 50mL	点滴静注	15分		↓	↓																		
⑤	エトボシド 5%ブドウ糖液	100mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴静注	60分	↓	↓	↓																		
⑥	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 5 250mL	点滴静注	60分	↓																				
⑦	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓	↓	↓																		
上記4コース施行後、下記維持療法へ（病勢増悪まで）																									
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
②	イミフィンジ 生理食塩液	1500mg/body 100mL	点滴静注	60分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				

<注意事項/備考>

- ✓ スケジュール：4コース施行後、PDや毒性による中止まで、Durva単剤を継続
- ✓ Durva：院内マニュアルに基づいて、治療開始前、投与中（定期的）、症状発現時の検査が必要

- ✓ ETP：調製時間に注意（調製後、長時間放置にて結晶析出）
  - ✓ CBDCA：投与回数を重ねると、ショック、アナフィラキシー様症状の発現頻度が高くなる傾向（8コース前後）
  - ✓ CBDCA：腎機能障害に注意。アミノグリコシド系抗菌薬の併用でリスク増大
-



